

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-67645

(43) 公開日 平成10年(1998) 3月10日

(51) Int.Cl. <sup>4</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 K	7/48		A 6 1 K	7/48
	7/00			7/00
				C
				N
	47/10		47/10	Z

審査請求 有 請求項の数49 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願平9-191675	(71) 出願人	391023932 ロレアル LOREAL フランス国パリ, リュ ロワイヤル 14
(22) 出願日	平成9年(1997) 7月16日	(72) 発明者	イザベル・アゴスティン フランス・92290・シャトネー・マラブリ ー・リュ・デ・プレ・オウ・48
(31) 優先権主張番号	9 6 0 8 9 5 7	(72) 発明者	ドローレ・ミゲル・コロンベ フランス・94240・レイーレーロズ・リ ュ・ピュイ・27
(32) 優先日	1996年7月17日	(74) 代理人	弁理士 志賀 正武 (外2名)
(33) 優先権主張国	フランス (F R)		

(54) 【発明の名称】 親水性成分及び揮発性化合物とペースト状脂肪化合物との混合物を含有する組成物及び前記混合

(57) 【要約】 物の使用

【課題】 親水性化合物を含有することのでき、転移及び／または移動を制限、減少及び／または回避した化粧品、皮膚科用、衛生用及び／または製薬用組成物を提案する。

【解決手段】 親水性化合物及び、少なくとも一の揮発性化合物と少なくとも一のペースト状脂肪化合物とを含有する脂肪相を含む組成物を調製する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 親水性成分及び、少なくとも一の揮発性化合物と少なくとも一のペースト状脂肪化合物とを含有する脂肪相を含有する化粧品、皮膚科用、衛生用及び/または製薬用組成物。

【請求項2】 親水性成分及び、少なくとも一の揮発性化合物と少なくとも一のペースト状脂肪化合物とを含有する脂肪相を含有する化粧品、皮膚科用、衛生用及び/または製薬用の非転移組成物。

【請求項3】 親水性成分が、多価アルコール及び/または増粘もしくはゲル化した水相から選択されることを特徴とする請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】 親水性成分が、2から8の炭素原子及び/または6の水酸基を有する少なくとも一の化合物;及び/または、平均分子量150から600のポリエーテルアルコールを含有することを特徴とする請求項1から3のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項5】 水酸基を有する化合物が、エチレングリコール、グリセリン、1, 2-プロパンジオール、ジグリセリン、エリトリール、アラビトール、アドニトール、ソルビトール及びダルシトールであることを特徴とする請求項4に記載の組成物。

【請求項6】 ポリエーテルアルコールが、ポリエーテルングリコール300及びポリグリセリン500であることを特徴とする請求項4に記載の組成物。

【請求項7】 水相が、海藻の抽出物、種子抽出物、果実抽出物、植物抽出物、セルロース誘導体、動物起源のゲル化剤、微生物の抽出物、合成ゲル化剤より選択される増粘剤を使用して増粘されることを特徴とする請求項3に記載の組成物。

【請求項8】 海藻の抽出物が、寒天、カラギーナン及びアルギン酸塩であり、種子抽出物が、カロブもしくはグアーであり、果実抽出物が、ペクチンであり、植物抽出物が、アラビアゴム、トラガカンゴム、カラヤゴム及びガッチゴムであり、セルロース誘導体が、カルボキシメチルセルロースであり、動物起源のゲル化剤が、ゼラチンもしくはカゼイン酸塩であり、微生物の抽出物が、キサンタンゴムである、及び/または、合成ゲル化剤が、アクリルポリマー誘導体もしくはシリコン誘導体であることを特徴とする請求項7に記載の組成物。

【請求項9】 増粘剤が、水相中に、水相全体の0.2から1.0重量%の濃度で存在することを特徴とする請求項7に記載の組成物。

【請求項10】 親水性成分が、組成物全体の4から40重量%を占めることを特徴とする請求項1から16のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項11】 親水性成分が、組成物全体の8から25重量%を占めることを特徴とする請求項10に記載の組成物。

【請求項12】 少なくとも一の界面活性剤をさらに含

有することを特徴とする請求項1から11のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項13】 揮発性化合物が、環状もしくは直鎖状の炭化水素オイル及び/またはシリコンオイルから、単独もしくは混合物として選択されることを特徴とする請求項1から12のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項14】 揮発性化合物が、3から8のケイ素原子を有する環状揮発性シリコン;ジメチルシロキサン/メチルアルキルシロキサンタイプのシクロポリマー;2から9のケイ素原子を有する直鎖状揮発性シリコン;アルキルトリシロキサン;揮発性炭化水素オイル及びこれらの混合物より選択されることを特徴とする請求項1から13のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項15】 前記環状揮発性シリコンが、4から6のケイ素原子を有することを特徴とする請求項14に記載の組成物。

【請求項16】 組成物全重量に対して8から70重量%の揮発性化合物を含むことを特徴とする請求項1から15のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項17】 組成物全重量に対して15から55重量%の揮発性化合物を含むことを特徴とする請求項16に記載の組成物。

【請求項18】 ペースト状脂肪化合物が、40℃で0.1から40Pa.sの粘度及び/または25から70℃の融点を有することを特徴とする請求項1から17のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項19】 ペースト状脂肪化合物が、40℃で0.5から25Pa.sの粘度及び/または25から55℃の融点を有することを特徴とする請求項18に記載の組成物。

【請求項20】 ペースト状脂肪化合物が、少なくとも一の炭化水素化合物を含むことを特徴とする請求項1から19のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項21】 ペースト状脂肪化合物が、炭化水素化合物及び/またはシリコン化合物及び/またはフッ素化合物の混合物であり、炭化水素化合物が主成分であることを特徴とする請求項1から20のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項22】 ペースト状脂肪化合物が、ラノリン、ラノリン誘導体、脂肪エステル、トリグリセリド、プロピオン酸アラキシル、ラウリン酸ポリビニル、コレステロールエステル、ペースト状シリコン脂肪物質、増粘オイル、水素化ヒマシ油誘導体より単独もしくは混合物として選択されることを特徴とする請求項1から21のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項23】 脂肪エステルが、20から45の炭素原子を有し、トリグリセリドが、水素化植物オイルであり、ペースト状シリコン脂肪物質が、アルキルジメチコンであることを特徴とする請求項22に記載の組成物。

【請求項 24】 任意に変性された粘土、ケイ酸アルミニウムもしくはケイ酸マグネシウム、オイルを増粘することのできるポリマーより選択される増粘剤を使用してオイルが増粘されていることを特徴とする請求項 22 に記載の組成物。

【請求項 25】 粘土が、塩化ステアリルジメチルアンモニウムもしくは塩化ステアリルジメチルベンジルアンモニウムで任意に変性されている、ペントンもしくはヘクトライトであることを特徴とする請求項 24 に記載の組成物。

【請求項 26】 ペースト状化合物が、1 から 40 重量%の濃度で存在することを特徴とする請求項 1 から 25 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 27】 ペースト状化合物が、8 から 35 重量%の濃度で存在することを特徴とする請求項 26 に記載の組成物。

【請求項 28】 ペースト状化合物が、15 から 30 重量%の濃度で存在することを特徴とする請求項 26 に記載の組成物。

【請求項 29】 少なくとも一のワックスをさらに含有することを特徴とする請求項 1 から 28 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 30】 ワックスが、微晶質ワックス、パラフィン、ワセリン、鉱油、オゾンクライト、モンタンロウ、ミツロウ、ラノリン及びその誘導体、カンデリラワックス、オウリカリワックス、カルナウバワックス及び木燭、ココアバター、コルクファイバワックスもしくはサトウキビワックス、25℃で固体である水素化オイル、25℃で固体である脂肪エステル及びグリセリド、

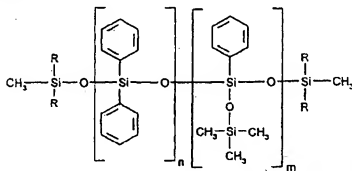
ポリエチレンワックス及びフィッシャー・トロブシュ合成によって得られるワックス、シリコンワックス、フッ化物ワックス及びこれらの混合物より選択されることを特徴とする請求項 1 から 29 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 31】 ワックスが、組成物全重量の 0.5 から 30 重量%の濃度で存在することを特徴とする請求項 29 または 30 に記載の組成物。

【請求項 32】 ワックスが、組成物全重量の 1.0 から 20 重量%の濃度で存在することを特徴とする請求項 31 に記載の組成物。

【請求項 33】 植物、鉱物、動物、合成及び/またはシリコン起源のオイルをさらに含有することを特徴とする請求項 1 から 32 のいずれか一項に記載の組成物。

- 【請求項 34】 オイルが、
- ・流動パラフィン、流動鉱油、ペルヒドロスクアレン、グラウンドナッツオイル、スイートアーモンドオイル、ビューティ・リーフオイル、バームオイル、ヒマシ油、アボカドオイル、ホホバオイル、オリーブオイルもしくはセリアルジウムオイル；脂肪酸エステル；アルコール；アセチルグリセリド；アルコールもしくはポリアルコールのオクタン酸塩、デカン酸塩もしくはリシノール酸塩；脂肪酸トリグリセリド；グリセリド；
  - ・ポリジメチルシロキサン (PDMS) 及びアルキルジメチコン；
  - ・任意にフッ素を含有する脂肪族及び/または芳香族基、または官能基によって変性されたシリコン；
  - ・下式：
- 【化 1】



【式中、

- ・RはC<sub>1</sub>-C<sub>30</sub>アルキル基、アリール基もしくはアラルキル基であり、
- ・nは0から100の整数、
- ・mは0から100の整数、但し、m+nの合計が1から100である】のフェニル化シリコンオイルより選択されることを特徴とする請求項 22 から 24 及び 33 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 35】 シリコンが、ヒドロキシル、チオール及び/またはアミン基によって変性されていることを

特徴とする請求項 34 に記載の組成物。

【請求項 36】 不揮発性炭化水素オイルを、20 重量%未満含有することを特徴とする請求項 1 から 35 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 37】 不揮発性炭化水素オイルを、15 重量%未満含有することを特徴とする請求項 36 に記載の組成物。

【請求項 38】 不揮発性炭化水素オイルを、5 重量%未満含有することを特徴とする請求項 36 に記載の組成物。

【請求項 39】 揮発性炭化水素オイルを全く含まないことを特徴とする請求 36 に記載の組成物。

【請求項 40】 揮発性脂肪物質が炭化水素脂肪物質であることを特徴とする請求項 1 から 39 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 41】 ベース状脂肪化合物としてラノリン及び/またはラノリン誘導体、炭化水素ワックス及びビソラフィン及び/または環状シリコンより選択される揮発性化合物を含有する請求項 40 に記載の組成物。

【請求項 42】 顔料及び/または充填剤及び/または真珠光沢剤を含む粒子相をさらに含有することを特徴とする請求項 1 から 41 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 43】 微生物に対して活性である薬剤；抗炎症もしくは免疫調節活性を持つ薬剤；神経メディエータの拮抗剤である、もしくは神経メディエータの放出を調節する薬剤；細胞分化及び/または増殖及び/または色素沈着及び/または角質生成を調節する薬剤；口唇炎の処置剤及び/または予防において活性な薬剤；抗ヒスタミン剤；はん度化剤である薬剤をさらに含有することを特徴とする請求項 1 から 42 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 44】 スティックもしくはペンシルの形態、任意にゲル化した油性の液体の形態、もしくは「MS-r 4」ローターを装備した CONTRAVES TV 回転粘度計を用い、回転速度 60 Hz を測定した 25℃での動力学的粘度が、3 から 35 Pa・s であるソフトペーストの形態である請求項 1 から 43 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 45】 皮膚、粘膜、半粘膜及び皮膚骨格のケア及び/またはメイクアップ用品、衛生用品、もしくは製薬用品の形態で与えられる請求項 1 から 44 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 46】 ファンデーション、ブラッシャーもしくはアイシャドウ、リップスティック、マスカラ、アイライナー、リップケア用品、口唇のための定着ベース、日焼け用品もしくは抗日光用品の形態である請求項 1 から 45 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 47】 親水性成分を含有する化粧品、皮膚科用、衛生用及び/または製薬用組成物の、転移及び/または移動を制限、減少及び/または抑制するため及び/または維持力を向上させるための、揮発性化合物とベース状脂肪化合物との混合物の使用。

【請求項 48】 親水性成分を含有する化粧品、皮膚科用、衛生用及び/または製薬用組成物に、少なくとも一の揮発性化合物及び少なくとも一のベース状脂肪化合物を導入することからなる、該組成物の転移及び/または移動の制限、減少及び/または抑制方法。

【請求項 49】 皮膚、粘膜、半粘膜及び/または皮膚骨格のメイクアップ及び/またはケア用組成物の形態であることを特徴とする請求項 48 に記載の組成物。

## 【発明の詳細な説明】

### 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、特にスティックもしくはソフトペーストの形態、皮膚、半粘膜、及び/または粘膜、特に口唇のケア及び/またはメイクアップのために使用することのできる化粧品組成物に関する。

### 【0002】

【従来の技術】 通常、特にペンシルの形態で用いられる固体で脂性の化粧品もしくは製薬用組成物、例えばリップスティックペンシルは、比較的に非揮発性であるという欠点を有する。この欠点を解消するために、乳化製品を調製することにより、こうした組成物に水を導入する試みがなされている。これに関しては、1 から 50 重量%の水を含有する油中水型エマルションを記載した仏国特許出願 F R 2, 3 7, 6 1 5 号を挙げることができる。しかしながら、このタイプの組成物には、水の蒸発という問題がある。この特許出願に記載された組成物はまた、油中水型エマルション中に染料物質を均一に分散させるために、1 から 10 重量%のポリヒドロキシ化化合物を含有する。

【0003】 固体分散物からの水の蒸発という問題は、欧州特許出願 E P 3 7 4, 3 3 2 号に従い、シリコンオイルとポリオキシアルキレンで変性したポリオルガノシロキサンとを混入することにより解消されている。こうして変性された組成物は付加的な湿潤剤として少量のポリオールも含有することができる。

【0004】 日本国特許出願 J P 0 1-1 4 3, 8 1 2 号には、シリコンオイル及び変性ポリオキシアルキレンポリオルガノシロキサンを用いる、化粧品として使用される固体エマルションへの多量の多価アルコールの導入が記載されている。しかしながら、こうした系で均一な製剤を維持するのは困難である。

【0005】 最後に、出願 E P 5 2 4, 8 9 2 号が既知であり、その目的は、多量の脂肪物質及び多価アルコールを含有する固体の無水分散物を得ることが可能な特定の方法を提案することによって上述の欠点を克服することである。

【0006】 しかしながら、これらの組成物が、該組成物が、例えばガラス、衣服もしくは皮膚等の所定のサポートに接触すると、少なくとも部分的には付着しうることを意味する。付着すると、該組成物は、前記サポート上にシミを残す。従って、その結果、該組成物は皮膚もしくは粘膜上での持続性に劣り、定期的に適用を反復する必要がある。

【0007】 これらの組成物の別の欠点は、移動である。これは、ファンデーションの場合には、皮膚上の細かい皺及び/または小皺の中へ、リップスティックの場合には口唇の周囲の細かい皺の中へ、アイシャドウの場合には目の周囲の皺の中へ広がりやすい組成物があることが観察されていることによる。

【0008】特にアイシャドウの場合には、瞼の動きによって生じるメイクアップのズジの出現もまた観察されている。

【0009】これら全ての現象は、美的に望ましくない効果を示し、明らかにその排除が望まれるものである。

【0010】通常のリップスティック組成物に存在するこれらの欠点は、該組成物がポリオールを含有すると一層顕著である。これは、特に、ポリオールが接触するサポートに粘着して痕を残しやすい、粘性でべたつく化合物であることによる。

【0011】優れた潤滑及び/または軟化特性を有すると共に、ほとんど転移しないもしくは全く転移しない、すなわち、“非転移”の組成物、特に化粧品組成物が求められている。

【0012】特に、非常に優れた維持力を保持する、すなわち、転移せず、接触するサポートにシミを作らないか、ほとんど作らず、経時的に移動しないと同時に、ポリオール等の親水性化合物を多量に含有することができる組成物が求められている。

【0013】

【発明が解決しようとする課題】従って、本発明の目的は、親水性化合物を含有するにも関わらず、ほとんどもしくは全く転移しない組成物を提案することである。

【0014】

【課題を解決するための手段及び発明の実施の形態】したがって、本発明の主題は、親水性化合物及び、少なくとも一の揮発性化合物と少なくとも一のペースト状脂肪化合物とを含有する脂肪相を含む化粧品、皮膚科用、衛生用及び/または製薬用組成物である。

【0015】本発明の主題はまた、化粧品、皮膚科用、衛生用及び/または製薬用組成物の転移及び/または移動を制限、減少及び/または回避する及び/または維持力を向上させるための、揮発性化合物とペースト状脂肪化合物との混合物の、組成物中での使用である。

【0016】本発明の主題はまた、前記組成物中に少なくとも一の揮発性化合物と少なくとも一のペースト状脂肪化合物とを導入することからなる、化粧品、皮膚科用、衛生用及び/または製薬用組成物、特に皮膚、粘膜、半粘膜及び/または身体表面の生長物のメイクアップ及び/またはケア用の組成物の転移を制限、減少及び/または回避するための方法である。

【0017】本発明の組成物は、皮膚に容易に適用することができ、それ自体が軽い肌触りの、一日中つけていても快適なメイクアップを与えることが観察されている。さらにまた、本発明の組成物は、皮膚に適用した際の比類ない軟化特性を有する。

【0018】さらにまた、本発明の組成物により、ペースト状脂肪化合物中の原料の優れた溶解化により均一な発色のフィルムを得ることが可能であり、該フィルムはサポート上に容易に適用され、延びの良いものである。

【0019】本発明の組成物は、特に、皮膚、粘膜、半粘膜及び/または皮膚骨格のケア及び/またはメイクアップの分野で特に有用に適用される。粘膜とは、特に、下瞼の内側部分を意味するものと理解され、半粘膜とは、特に口唇を意味するものと理解され、皮膚骨格とは、睫、眉毛、髪及び爪を意味するものと理解される。したがって、本発明は、特に口唇のためのメイクアップ用品の分野に適用され、またリップケア用品並びにファンデーション、日焼け用品もしくは抗日光用品等の皮膚のメイクアップ及びケア用品の分野にも適用される。

【0020】したがって、本発明の組成物は、少なくとも一の親水性成分を含有し、これは多価アルコール及び/または任意に増粘した、またはゲル化した水相であるといふ。

【0021】多価アルコールは、エチレングリコール、グリセリン、1, 2-プロパンジオール、ジグリセリン、エリトリール、アラビトール、アドニトール、ソルビトール及びダルシトール等の2から8の炭素原子及び2から6の水酸基を有する化合物であるといふ。多価アルコールはまた、ポリエチレングリコール300及びポリグリセリン500等の平均分子量150から600のポリエーテルアルコールであるといふ。多価アルコールの混合物もまた使用することができる。

【0022】増粘もしくはゲル化した水相が、コーンフラワーウォーター等のフラワーウォーター (flower water) 及び/またはEau de Vittel, Eau de LucasもしくはEau de La Roche Posay等の紅水を含有することができる。

【0023】これは、当業者に既知のあらゆる増粘剤の存在によって増粘することができ、特に以下のものを挙げることができる：

- ・寒天、カラギーナン及びアルギン酸塩等の海藻の抽出物、
- ・カプロもしくはグアー等の種子抽出物、
- ・特にベクチンのような果実抽出物、
- ・アラビアゴム、トラガカントゴム、カラヤゴム及びガッチゴム等の植物抽出物、
- ・カルボキシメチルセルロース等のセルロース誘導体、
- ・ゼラチンもしくはカゼイン酸塩等の動物起源のゲル化剤、
- ・キサンタンゴム等の微生物の分泌物、
- ・アクリルポリマー誘導体 (Carbomer, Carbopol, Pemulen) もしくはシリコン誘導体 (Laponite, Lapomer) もしくはVee gum 等の合成ゲル化剤。増粘剤は水相に対して0.2から10重量%の量で水相中に存在することができる。
- 【0024】増粘剤は、水相中に、水相全体の0.2から10重量%の濃度で存在することができる。
- 【0025】さらに、前記親水性成分は、水溶性添加

剤、特にビタミン類、化粧品及び/または製薬用活性剤、着色剤、アミノ酸及びUVスクリーン剤を含むことができる。

【0026】親水性成分は、組成物の4から40重量%、好ましくは8から25重量%を占めることができる。

【0027】親水性成分を、組成物の他の成分と混合する前に、少なくとも脂防相の一部に分散させることが好ましい。親水性成分が少なくとも一の多価アルコールを含有する場合、前記アルコールの粒子径は、1ミクロン未満であることが好ましい。

【0028】組成物中に、親水性成分をよりよく分散させるためには、少なくとも一の界面活性剤を前記組成物に添加することができる。この界面活性剤は、陰イオン性もしくは非イオン性の、好ましくはHLBが10未満、より好ましくは5未満であるといふ。特に、シリコーン界面活性剤等のシリコーン誘導体、もしくはレシチン、サクシニルグリセリド、リン酸アルキル、ラノリン酸マグネシウム及びこれらの混合物等の、通常のあらゆる界面活性剤を挙げることができる。

【0029】本発明の組成物はまた、脂防相を含有し、これには特に揮発性化合物が含まれる。これらの揮発性化合物は、特に、環状もしくは直鎖状の炭化水素オイル及び/またはシリコーンオイルより、単独もしくは混合物として選択することができる。

【0030】本発明の記載では、揮発性化合物という用語は、皮膚に接触した際に蒸発し得るあらゆる化合物を意味するものと理解される。揮発性オイルとしては、これらのオイルを製剤中に用いることができるほど引火点が十分に高く、望ましい揮発効果を得られるほど充分に低い揮発性オイルを使用することが好ましい。引火点が40から100℃である揮発性オイルを使用することが好ましい。

【0031】揮発性シリコーンオイルの中では、単独もしくは混合物として下記のものを挙げることができる。

・3から8、好ましくは4から6のケイ素原子を有する環状揮発性シリコーン、例えば、シクロトラジメチルシロキサン、シクロペンタジメチルシロキサンもしくはシクロヘキサジメチルシロキサン、

・ジメチルシロキサン/メチルアルキルシロキサンタイプのシクロポリマー、例えば、ジメチルシロキサン/メチルオクチルシロキサンシクロポリマーであるUNI ON CARBIDE社製のSILICONE FZ 3109、

・2から9のケイ素原子を有する直鎖状揮発性シリコーン、例えば、ヘキサメチルジシロキサンもしくは低粘度(1cst)のPDMS、ヘキシルヘプタメチルトリシロキサンもしくはオクチルヘプタメチルトリシロキサン等のアルキルトリシロキサンもまた挙げることができる。

【0032】揮発性炭化水素の中には、イソパラフィン、特にインドデカンを挙げることができる。

【0033】本発明の組成物には、組成物全重量に対して8から70重量%、好ましくは15から55重量%の揮発性化合物を含むことができる。

【0034】本発明の組成物はまた、少なくとも一のベースト状脂肪化合物を含有する。この化合物は少なくとも一の炭化水素化合物を含むことが好ましく、これはポリマーの形態であるといふ；ケイ素及び/またはフッ素もまた含有するといふ；様々な炭化水素化合物及び/またはシリコーン化合物及び/またはフッ素化合物の混合物の形態であるといふ。混合物の場合には、炭化水素化合物が主成分として使用されることが好ましい。

【0035】本発明のベースト状脂肪化合物は、少なくとも一の下記の物理化学特性によって決定される。

・MS-r 3もしくはMS-r 4ローターを装備したCO NTRAVES TV回転粘度計を用い、回転速度60Hzで測定して、0.1から40Pa.s(1から400ポアズ)、好ましくは0.5から25Pa.sの粘度、  
・25から70、好ましくは25から55℃の融点。

【0036】当業者であれば、その一般的な知識を基に、試験化合物の粘度測定のために、MS-r 3及びBM S-r 4から、粘度を測定することのできるローターを選択することができるであろう。

【0037】本発明の範囲内で使用することのできるベースト状化合物の中でも、18から21Pa.s、好ましくは19から20、5Pa.sの粘度を有し、及び/または30から60℃の融点を有するラノリン、ラノリン誘導体を挙げることができる。

【0038】脂肪エステルとしては、特に20から45の炭素原子(約25から70℃の融点)を有するもの、並びに、水素化植物油等のトリグリセリドもまた挙げることができる。エステルの中には、プロピオン酸アラキシル、ラウリン酸ポリニル、コレステロールエステルを挙げることができる。

【0039】25から60℃の融点を有するアルキルジメチコン等のベースト状シリコーン脂肪物質、特に、Dow Corning社より市販のDC2503及びDC25514(商品名)もまた挙げることができる。

【0040】ベースト状脂肪化合物としては、通常の増粘剤で増粘した通常のあらゆるオイルを使用することができる。

【0041】増粘できるオイルは、鉱物、植物、動物及び/または合成起源のもの、例えば、任意にフェノール化されたシリコーンオイル等であるといふ。特に、以下に記載した一以上のオイルを使用することができる。

【0042】増粘剤は、塩化ジステアリルジメチルアンモニウムまたは塩化ステアリルジメチルベンジルアンモニウムもしくはケイ酸アルミニウムまたはケイ酸マグネシウムで任意に変性されたベントムもしくはベクトライト等の粘土、あるいはまた、オイルを増粘することのできる既知の通常のポリマーより選択することができる。

【0043】Rheox社製の“Thixitr”等の水素化ヒマシ油誘導体もまた使用することができる。

【0044】ペースト状化合物は、組成物中に、1から40重量%、好ましくは8から35重量%、さらに好ましくは15から30重量%の濃度で存在することができる。

【0045】本発明の組成物はまた、少なくとも一のワックスを含有することができ、これによって、特にスティックの形態である場合に、該組成物に機械的強度が与えられる。ソフトペーストもしくは成型品の形態である場合、本発明の組成物はより少量、例えば組成物全重量に対して2から15重量%のワックスを含むことができる。

【0046】従来より既知のあらゆるワックスを単独もしくは混合物として使用することができ、これらの中でも、例えば微晶質ワックス、パラフィン、ワセリン、鉱油、オゾケライト、モンタンロウ、ミソウ、ラノリン及びその誘導体、カンデリラワックス、オウリカリワックス、カルナウバワックス、木蝋、ココアバター、コルファイバーワックスもしくはサトウキビワックス；25℃で固体である水素化化合物、25℃で固体である脂肪エステル及びグリコリド；ポリエチレンワックス及びフィッシャー・トロプシュ合成によって得られるワックス；シリコンワックス；フッ化ワックス等の動物、植物、鉱物及び合成ワックスを挙げることができる。

【0047】該組成物の一部をなすワックスは、約45℃、特に55℃よりも高い融点を有する、及び/または

25℃での針貫入値 (needle penetration value) が好ましくは3から40であることが好ましい。該組成物が、0.5から30重量%、特に10から20重量%のワックスを含有することが好ましい。

【0048】さらにまた、本発明の組成物は、上記の化合物に加えて、植物、鉱物、動物及び/または合成起源のオイル、特にシリコンオイルをさらに含んでもよい。

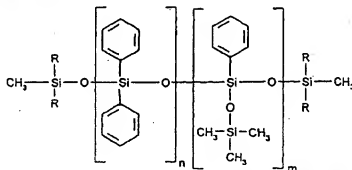
【0049】流動パラフィン、液体鉱油、ペルヒドロステアレン、グラウンドナッツオイル、スイートアーモンドオイル、ピューティリーフオイル、バームオイル、ヒマシ油、アボカドオイル、ホホバオイル、オリブオイルもしくはセリアルジャームオイル；脂肪酸エステル；アルコール；アセチルグリセリド；アルコールもしくはポリアルコールのオクタ酸塩、デカ酸塩もしくはリシノール酸塩；脂肪酸トリグリセリド；グリセリドを挙げることができる。

【0050】ポリジメチルシロキサン (PDMS) 及びアルキルジメチコン並びに、任意にフッ化された脂肪族及び/または芳香族基により、もしくはヒドロキシル、チオール及び/またはアミン基等の官能基によって変性されたシリコンを挙げることができる。

【0051】フェニル化シリコンオイル、特に下記の式：

【0052】

【化2】



【0053】【式中、

・RはC<sub>1</sub>-C<sub>30</sub>アルキル基、アリール基もしくはアラルキル基であり、

・nは0から100の整数、

・mは0から100の整数、但し、m+nの合計が1から100である】に相当するオイルを挙げることができる。

【0054】Rは、メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、デシル、ドデシルもしくはオクタデシル基あるいはまたフェニル、トリル、ベンジルもしくはフェネチル基であることが好ましい。

【0055】当業者であれば、明らかに、特に、例えば

堅さもしくは肌触りに関して望ましい特性を有する組成物を調製するために様々な方法で脂肪物質を選択することができる。

【0056】一般的に、炭化水素オイル及び/またはシリコンオイル等のオイルを少量、特に組成物全重量に対して5重量%未満の量で使用することが好ましい。

【0057】しかしながら、該組成物が不揮発性炭化水素オイルを、20重量%未満、好ましくは15重量%未満、より好ましくは5重量%未満含有する場合または不揮発性炭化水素オイルを全く含有せず、より多量のペースト状脂肪化合物に置き換えられている場合に、本発明による組成物の維持力が改善されると共に、転移及び/

または移動が見られなくなることが判った。

【0058】本発明の好ましい実施例によれば、該組成物は、任意で揮発性化合物を含まず、炭化水素脂肪化合物のみを含有する。特に、該組成物は、ペースト状脂肪化合物としてラノリン及び/またはラノリン誘導体、炭化水素ワックス及びインバラフィンもしくは環状シリコンタイプの揮発性化合物を含有することができる。これは、脂肪物質が炭化水素である場合に、顔料の隠蔽化により良好であり、これにより皮膚のメイクアップがより均一な色ものになることが判っている。さらにまた、シリコン脂肪物質は、全ての炭化水素脂肪物質と全く適合せず、このため製剤の発現物質に関してより大きな限定が生じる。

【0059】本発明の組成物にはまた、湿環境において安定化するのに十分なポリマーの量を添加可能である。このようなポリマーは、脂溶性であり、親水性単位を非常に低い濃度で含有する。これらのポリマーとしては、脂肪物質と適合可能な、ポリアルキレン（特に、ポリエチレンおよびポリブテン）、ポリアクリレートおよびシリコンポリマーが挙げられる。ポリアルキレンとしては、ポリブテン、特に、Amoco社からIndopolの商品名で販売されているものが挙げられる。

【0060】多価アルコールに対するポリマーの重量比は、4未満、特に、0.25から2であることが好ましい。

【0061】該組成物はまた、化粧品組成物に通常使用される、顔料及び/または真珠光沢剤及び/または充填剤を含有する粒子相をさらに含有可能である。顔料という用語は、組成物を着色する及び/または不透明にするための、白色または有色の無機または有機粒子を意味するものと理解される。充填剤という用語は、組成物に剛性を付与するための、無色のまたは白色の、無機または合成の、メラマまたは非メラマ粒子を意味するものと理解される。真珠光沢剤という用語は、天然または合成由来の、光を反射する紅色の粒子を意味する。

【0062】顔料は、組成物中に、最終組成物の全重量に対して、0から15重量%、好ましくは8から10重量%の濃度で存在可能である。これらは、白色または有色の無機および/または有機物であり、通常は微小径のものである。二酸化チタン、二酸化ジルコニウム、または二酸化セリウム、並びに、酸化亜鉛、酸化鉄、または酸化クロム、第二鉄質、カーボンブラック、ウルトラマリン（アルミノシリケート-ポリスルフィド）、ピロリン酸マンガ、および所定の金属粉、たとえば、銀またはアルミニウムの粉が挙げられる。唇及び皮膚へのメイクアップ効果を付与するために通常使用されるレーキ、たとえば、酸性染料、たとえばハロ酸、アゾまたはアントラキノン染料の、カルシウム、バリウム、アルミニウム、またはジルコニウム塩が挙げられる。

【0063】真珠光沢剤は、組成物の全重量に対して、

0から20重量%、好ましくは約8から15重量%存在可能である。考えられる真珠光沢剤としては、酸化チタン、酸化鉄、天然ビグメント、またはオキシ塩化ビスマス被覆のマイカ、天然パール、並びに、着色チタンマイカが挙げられる。

【0064】充填剤は、組成物の全重量に対して、0から30重量%、好ましくは5から15重量%存在可能であり、無機または合成の、メラマまたは非メラマ状のものであってもよい。タルク、マイカ、シリカ、カオリン、ナイロン粉末、ポリエチレン粉末、テフロン、澱粉、窒化ホウ素、微小球、たとえば、Expance 1 (Nobel Industrie社)、Polytrap (Dow Corning社)、およびシリコン樹脂のマイクロビーズ（たとえば、東芝社のTospearls）が挙げられる。

【0065】本発明による組成物は、また、化粧品分野において通常使用されている添加剤、たとえば、酸化防止剤、香料、精油、保存料、親油性および/または親水性美容活性剤、湿潤剤、ビタミン、必須脂肪酸、スフィンゴ脂質、日焼け剤、たとえばDHA、およびサンスクリーンを含有可能である。

【0066】これらの添加剤は、その溶解性に応じて、脂肪相または水相または多価アルコールを含有する相のいずれかに存在する。

【0067】明らかに、当業者は、これらの任意の添加化合物、および/または、その量を、本発明による組成物の有利な特性を該添加化合物によって損なわない、または実質的に損なわないように選択するものである。

【0068】本発明による組成物はまた、少なくとも1つの活性剤を含有可能であり、該活性剤とはたとえば、微生物に対しての活性剤、特に、抗ウイルス、抗細菌、または抗真菌活性を有する活性剤；抗炎症または炎症調節活性を有する薬剤；神経メディエータに拮抗する、または神経メディエータの放出を調節する薬剤；細胞分化および/または増殖および/または色素沈着を調節する、および/または角質化を調節する薬剤；口唇炎の治療および/または予防に活性を有する薬剤；抗ヒスタミン；はん癬化剤である。

【0069】治療すべき病理に応じて、いくつかの活性剤を組み入れる、または、病所の防止又は治療を行うための第2活性剤を添加する、および/または該病所と関連した徴候を治療することが可能である。上記第2活性剤としては、局所麻酔剤、防腐剤、モイスチャライザー、および/または保湿剤、およびサンスクリーン剤、特に、化学的または無機サンスクリーン剤が挙げられる。

【0070】組成物にはまた、組成物の賦形剤としての活性剤の適合性または溶解性を向上させるための薬剤、および/または、前記活性剤の皮膚または粘膜への浸透を促進する薬剤を含有可能である。該薬剤としては、たとえば、ミリスチン酸イソプロピル、オレイン酸、レシチ



ン、または所定のアルコールが挙げられる。

【0071】本発明による組成物は、スティックまたはペンシル形状の、任意に乳化化されてもよい油液状の、または、MS-r 4ローターを装備したコントラプス (Contraves) TVローター粘度計を用い、60Hzの回転数で測定して、25℃で3から35Pa・sの動的粘度を有するソフトペースト状であってもよい。

【0072】本発明による組成物は、当業者に公知の手段で調製可能である。特に、親水性成分は、非常に小さい粒径、特に、1ミクロン以下の粒径となるように、最低スピン速度で、ターボミキサーを用いて組成物中に組み入れられる。従って、例えば多価アルコールを大量に組み入れることも可能である。

【0073】特に、組成物は、親水性成分と、揮発性化合物を除く脂肪物質を全てまたは一部、65から95℃までの間の温度に加熱し、少なくとも1500回転/分、好ましくは2500-3500回転/分のスピン速度で、ターボミキサーを用いて混合することによって、調製可能である。

【0074】この後、熱安性でありがちな揮発性化合物及び任意の添加剤を添加する。こうしてえられたエマルションを適切な型に注入する。本発明の方法において使用可能なターボミキサーは、化粧品または製薬組成物の調製用に商業的に知られている如何なるモデルのもでもよい。たとえば、Moritzのターボミキサーが挙げられる。

・オキシプロピレン化ラノリン

(PPG5ラノリンワックス; 粘度19Pa.s)	18g
・トリグリセリド (水素化コグリセリド)	6g
・炭化水素ワックス (特にポリエチレンワックス)	17g
・植物油	1.5g
・顔料、真珠光沢剤、充填剤	8g
・グリセリン	10g
・リン酸トリオレイル	1g
・シクロテラジメチルシロキサン	

【0081】揮発性オイル以外の脂肪物質を95℃に加熱し、混合する従来の方法によって組成物を調製した。顔料及び充填剤を添加した。

【0082】別に、グリセリンを80℃に加熱し; 回転速度300rev/分でモリッツターボミキサー (Moritz turbomixer) を用いて、脂肪相とグリセリンとを、組成物が流れる程度の堅さになるまで混合した; この後、揮発性化合物を添加し、該組成物を適切な型に注入した; これを放冷した。

【0083】こうして、より延び、均一に適用される、好ましい肌触りをもつリップスティックペンシルが得られた。フィルムは経時的にもついても快速で、移動しないものであった。

・アセチル化ラノリン (粘度20.5Pa.s)	16g
・トリグリセリド (水素化コグリセリド)	6g

【0075】本発明による組成物はまた、高い含有量のワックスを含有する、ソフトペースト形状の組成物を得ることが可能である、1以上の押し出し成型機を用いて調製可能である。

【0076】本発明による組成物は特に、皮膚、粘膜、半粘膜、および/または皮膚骨格のメークアップの分野に適用可能であり、この場合、ファンデーション、ブラッシャー、アイシャドウ、リップスティック、マスカラ、またはアイライナーの形態である。

【0077】組成物はまた、任意に化粧品活性剤を含有する無色形態であってもよい。この場合、特に、リップケア製品、通常のリップスティックに適用されるべき定着ベースとして使用可能である。この場合、定着ベースは、リップスティックのフィルムを覆う保護フィルムを形成し、転移及び移動を制限し、維持力を増大させるものである。

【0078】本発明による組成物はまた、皮膚、粘膜、半粘膜、および/または皮膚骨格用ケア製品、衛生または製薬製品、あるいはまた、抗日光用品または日焼け製品の形態であってもよい。

【0079】本発明を以下の実施例において詳細に説明する。

【0080】

【実施例】

(実施例1) 以下の組成を有するリップスティックペンシルを調製した。

全体を100gとする量

【0084】この組成物を、数人のヒトの口唇の左側に適用した。比較のため、ラノリンとトリグリセリドとが植物油 (ホホバオイル) に置き換えられた同様の組成物 (コントロール組成物) を前記の口唇の右側に適用した。

【0085】リップスティックを室温で5分間乾燥させた後、全ての口唇に紙をあてた。コントロール組成物による、より濃いシミが、全ての紙の上に観察された。本発明の組成物では、非常に薄い、ほとんど認識できないシミが、紙上に観察された。

【0086】(実施例2) 以下の組成を有するソフトペーストの形態のリップスティックを調製した。

・植物オイル	0.5g
・炭化水素ワックス（特にポリエチレンワックス）	2.5g
・顔料、真珠光沢剤、充填剤	8g
・リン酸トリオレイル	1g
・グリセリン	10g
・シクロペンタジメチルシロキサン	

全体を100gとする量

【0087】揮発性オイル以外のこれら様々な原料を、入口温度が約75から95℃のツイーンスクレ押し出し成型機に導入した。押し出し成型の最後に、20から25℃の温度にて、押し出し成型機に揮発性オイルを導入した。出口に、単一の、安定な、均一な相の形態でソフトペーストが得られ、これは適用の際にはブラシで取り扱うことができる。

【0088】この組成物によれば、適用が容易で、均一によく延びるフィルムを得ることが可能である。得られたフィルムはまた、軽い肌触りを有し、一日中つけていても快適なものであった。これな、転移も移動もしなかった。

【0089】（実施例3）以下の組成を有するペンシルの形態のリップスティック定着ベースを調製した。

・アセチル化ラノリン（粘度20.5Pa.s）	16g
・トリグリセリド（水素化コグリセリド）	6g
・植物オイル	0.5g
・炭化水素ワックス（特にポリエチレンワックス）	17g
・充填剤	0.5g
・グリセリン	10g
・リン酸トリオレイル	1g
・インバラフィン	

全体を100gとする量

【0090】該組成物を適用することによって得られたフィルムは、標準的なリップスティックの上に、均一に

よく延びた。